



Sustainable Development Goals #04

石田小×SDGs

伊達市立石田小学校では、学校環境緑化活動の草花や野菜の栽培活動を通し、森林の働きや自然の素晴らしさについて理解を深めています。活動に当たっては、保護者や地域の方の協力を得ています。

緑の少年団の活動



緑の少年団活動は、40年来の活動実績があり、児童にとっては学校生活の一部になっています。児童は、自然環境保護の重要性を理解するとともに、友達と活動することで友情と連帯、思いやりの心を育てています。

具体的な取組としては、チューリップやヒマワリ等の栽培、苗を寄せ植えたフラワーバスケットづくりが挙げられます。これらを学校内外に並べ、飾っています。また、ジャガイモ、キュウリ、サツマイモ等の野菜を栽培し、収穫の喜びを経験しています。児童は、毎朝水やりを行うことで、植物が成長する様子を愛情をもって観察しています。



【緑の少年団】



学校に来られた方々にも、花や緑がいっぱいの石田小のよさを感じてほしいです。

森林環境学習

あづま総合運動公園において森の案内人を講師に迎え、森林の働きの多様性等を学習しています。また、霊山登山を通して森林や自然のよさに触れるとともに、水資源を守ることも学んでいます。

各教科の学習

4年生の理科では、ヘチマの種まき、植え替え、成長の観察・記録など季節や気温に応じて植物がどのように成長していくのかについて学んでいます。

また、全学年の図画工作科において親子木工教室を開き、木材を用いた加工体験を行っています。当日は、月舘町の工房「空とぶくじら」の三森修一様を講師に招き、アドバイスを受けながら、児童は保護者とともにパズルを作成しました。木材の特質である加工しやすさ、肌触りのよさ等を実感することができました。



【親子でパズルを製作】



石田小の校庭や学校のまわりには自然がいっぱいです。春・夏・秋・冬の季節の変化を感じて学習を進めています。

地域との連携

石田地区には「石田ふるさと振興会」が組織され、地域の行事の運営や草の刈り払い等の協力を得ています。

地域にあるJAや郵便局、駐在所、食堂などへ児童が植えた花苗を贈る活動を通して、地域社会へ貢献することの喜びや感謝の気持ちを育てています。

